

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	飯田市営駐車場事業	会計	駐車場	事業No.	658	施策順No.	42-003
		事業種別	政策・その他	予算科目	1-1-1-10-1		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	危機管理・交通安全対策室		
施策	42 交通安全の推進		事業期間	開始	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	買物・観光・娯楽及び通勤等で旧市を訪れる自動車利用者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)							
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度			
		収容台数(一般)		296	296	296	296		
		収容台数(月極)		127	127	107	107		
意図	利用者に喜ばれ利用しやすい駐車場、かつ、地域の活性化に寄与する駐車場の運営(違法駐車等の排除を含む健全な駐車場事業の確保)								
対象をどう変えるか	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)						目標達成度	
		19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標		
	年間利用台数(一般)	429278	454681	446000	400000	429543	400000	B	
	年間利用台数(月極)	528	444	372	400	372	500		
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	新たな、ゲート開閉システムを本町駐車場に導入し利便性を図った								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	違法駐車を排除して、安全で快適な道路環境と交通流の確保並びに車両利用者の駐車場確保の容易性・利便性を図るとともに、地域の活性化に寄与した健全な駐車場の実現を図る。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 駅前駐車場(駐車枠72台) 2 中央駐車場(駐車枠100台) 3 本町駐車場(駐車枠81台) 4 扇町駐車場(駐車枠35台) 5 駅西駐車場(月極駐車枠70台) 6 扇町駐車場(月極駐車枠17台)	1 年間利用台数 2 年間利用台数 3 年間利用台数 4 年間利用台数 5 契約台数22年度末 6 契約台数22年度末	1 85,000台 2 106,000台 3 204,000台 4 51,000台 5 14台 6 17台
23年度実施計画	1 駅前駐車場(駐車枠72台) 2 中央駐車場(駐車枠100台) 3 本町駐車場(駐車枠81台) 4 扇町駐車場(駐車枠35台) 5 駅西駐車場(月極駐車枠70台) 6 扇町駐車場(月極駐車枠17台)	1 年間利用台数 2 年間利用台数 3 年間利用台数 4 年間利用台数 5 契約台数23年度末 6 契約台数23年度末	1 85,000台 2 106,000台 3 204,000台 4 51,000台 5 14台 6 17台

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項	(そ)利用収入
	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他	67,000	62,538	64,100			
一般財源							
	計(A)	67,000	62,538	64,100			
	正規職員所要時間		100				
	臨時職員等所要時間		100				
	人件費計(B)		465				
	トータルコスト A+B		63,003				

4 事業に対する市民や議会の意見

違法駐車排除の要望や駐車場増設の意見が寄せられている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞り者、財産について、交通事故の被害を軽減する、	施策の成果指標又はムトス指標	交通事故での死傷者数 人身交通事故の発生件数
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・市内における恒常的な駐車場不足に対応しており、違法駐車車両に起因する交通事故の防止と健全な道路環境に大きく貢献している。		
	後期に向けた課題	・現状のまま推進していく。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・機械化や業務の委託を行って削減に努めるとともに、中央駐車場の蛍光灯をLED化し、電気代、取替費用の削減を図った。		
	後期に向けた課題	・プリペイドカード自動販売機箇所や、駐車サービス券売りさばき場所の増設により駐車場利用者の利便性を向上させ、適切な施設の維持管理により、快適なサービスを提供し、利用台数の増加を図る。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・機械化や業務の委託を行って削減に努めるとともに、中央駐車場の蛍光灯をLED化し、電気代、取替費用の削減を図った。		
	後期に向けた課題	・引き続き推進していく。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・受益者は駐車場利用者である。時間貸しの場合は、1時間までは無料で、その後30分毎に100円の課金制度をとっており、民間の駐車場と比較しても妥当な料金設定と認められる。		
	後期に向けた課題	・引き続き推進していく。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①主体は駐車場利用者であり、駐車違反の削減や道路交通の運行に支障させていない。 ②使いやすい駐車場管理に努め、通常業務は警備会社等へ施設の維持管理を委託している。		
	後期に向けた課題	・特になし		
全体を通じて	4年間の振り返り	・中心市街地の駐車場不足に対応し、健全な道路環境の実現と交通事故防止に一定の効果があつたものと思われる。		
	後期に向けた課題	・プリペイドカード自動販売機箇所や、駐車サービス券売りさばき場所の増設により駐車場利用者の利便性を向上させ、適切な施設の維持管理により、快適なサービスを提供し、利用台数の増加を図る。また、駅西駐車場の月極部分の稼働率向上に向けた広報を推進する。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要があるかどうか	ない	対象や意図を修正する必要があるかどうか	ない	成果指標や指標値を修正する必要があるかどうか	ない
-----------------------	----	---------------------	----	------------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------